

ニュース いちしNEWS

一志総合支所
地域振興課 発行
電話293-3000
FAX293-5544
平成29年3月16日
第33号

わくわく料理体験 ～川合幼稚園・高岡幼稚園～



2月1日(水)川合幼稚園で、2日(木)高岡幼稚園で、年長園児合わせて49人が五平餅作りに挑戦しました。

この取り組みは、「一志町地産地消子どもの元気づくり協議会」主催で行われ、食を通して調理する楽しさや皆で食べる喜びを学び、地元食材の良さを知ってもらおうと毎年行われています。

初めての料理体験に園児たちはワクワクした面持ちで、協議会の方の説明に熱心に耳を傾け、一つ一つ丁寧に五平餅を作りました。

当日使われた食材は、地元で採れたものを用い、園児達は炊き立てのご飯から立ち上る湯気に歓声をあげながら小さな手で形を整え、特製の味噌ダレを塗り焼き上がり待ちました。

香ばしい匂いが部屋いっぱいに広がり、園児たちは「初めて作ったけどおいしくできた。」「家でもやってみよう。」と口々に話していました。



ご家庭で試してみませんか？ ～簡単五平餅の作り方～

- ① 炊き上がったごはんに小麦粉と塩を加えてすり鉢で半潰しにし、割り箸にまきつけて小判型に成形し、こんがり焼く。
- ② ピーナッツ、白ごまはすり鉢ですり潰す。
- ③ 鍋に②とあわせ味噌、みりん、砂糖を加え、少量の水を加え、練りながら煮る。
- ④ ③が程よい硬さになったら、酒を入れ仕上げる。
- ⑤ ①に④のたれをハケで塗り、もう一度火であぶってできあがり！！

材料(6人分)

●もち	
米	2合
小麦粉	大さじ1
塩	少々
●たれ	
味噌(あわせ)	25g
砂糖	25g
みりん	1/4カップ
刻みピーナッツ	25g
白ごま	大さじ3
酒	少々

平成29年度年間行事のご案内

一志児童館 (一志町高野160番地699) (電話) 059-293-0936

川合児童館 (一志町八太1008番地1) (電話) 059-293-3711

一志地域の児童館は、0歳から18歳未満までの児童のための福祉施設です。子どもたちに遊び場と遊びを提供し、遊びを通して児童が心身ともに健やかに成長するお手伝いをするところです。

月	一志児童館の取り組み	川合児童館の取り組み
4	鯉のぼり作り	鯉のぼり作り
5	パウチを使ったカード作り	時間割り表・カレンダー作り
6	七夕飾り作り	七夕飾りと短冊作り
7	いきいきサロンとの交流会：夏の季節の小物作り	うちわ作り
8	福寿草との交流会：こけ玉作り	暑中見舞い・残暑見舞いを書く
9	リリヤンを使って組ひも作り	ぬり絵など
10	折り紙	しおり・ハロウィン飾り作り
11	毛糸を使った小物作り	公民館祭参加：カレンダー作り
12	クリスマスリース作り	クリスマスケーキ・クリスマスツリーの置物作り
1	折紙で干支の壁掛作り	干支の絵馬・節分の豆入れ作り
2	いきいきサロンとの交流会：ひな人形作り	ひな人形作り
3	新年度にむけてカレンダー作り	毛糸のマスコット作り

※ 上記の取り組み以外にも、卓球、一輪車、バドミントン(川合児童館のみ)などの運動やブロック、ゲーム等の遊びができます。

※ 開館時間 10:00～12:00、13:00～17:00まで。(日・祝日・年末年始は休館です)

※ 詳しくは各児童館へお問い合わせください。



人権週間街頭啓発活動実施

昭和23年12月10日の国際連合第3回総会での、世界人権宣言の採択を記念して、日本では昭和24年に「法務省」と「全国人権擁護委員連合会」が12月10日を最終日とする1週間を「人権週間」と決めました。

期間中、全国各地においてシンポジウム、講演会、座談会、映画会等の開催のほか、テレビ・ラジオなど各種のマスメディアを利用した集中的な啓発活動が行われました。

今年度の人権週間は12月4日～12月10日で、一志地域でも12月7日(水)に町内のスーパーマーケットで啓発活動を行いました。

人権とは「人が生まれながらに持っている人間らしく生きる権利」であり、誰にも侵すことのできない永久の権利です。しかし私たちの周りでは、差別や偏見が依然として存在しています。一人一人が人権意識を高め、人権が尊重される町が一日も早く実現することが望めます。

皆さんも機会があれば、「思いやりの心」や「かけがえのない命」について、もう一度考えてみてはいかがでしょうか。



もう10歳なんだね ～二分の一成人式～

一志西・一志東小学校で二分の一成人式が行われました。
成人式の二分の一、つまり10歳になったことをお祝いし、10年間、今まで育ててくれたお家の方への感謝と、二十歳になるまでのこれから10年間の抱負を発表しました。



一志西小学校では、1月24日（火）自由参観の時間を利用して、60名の4年生が参加し行われました。

全員が、式場となった音楽室に集まり、お家の方々にリコーダーの演奏や歌をプレゼントし、一人一人が日ごろあまり口にする事の無かった、今まで育ててくれたことへの感謝の言葉を伝えました。

式の中では、卒業式さながらに、二分の一成人証書授与式も行われ、先生から証書を受け取った児童たちは、引き締まった表情で、将来の夢に向かって一生懸命努力することを誓いました。



一志東小学校では、1月31日（火）61名の4年生が参加し行われました。

一人一人がお家の方々に前に、自分の気持ちをまとめたフリップを持って、感謝の言葉と、将来の夢を発表しました。

発表の途中で、胸がいっぱいになり言葉に詰まる児童もいて、感動的な時間となりました。

最後はホールに移動し、児童から歌のプレゼントがあり、お家の方から児童たちへお祝いの手紙が渡されるサプライズもあり、感謝と感激と涙で溢れる式となりました。



カブラにチャレンジ ～かわいっこ低学年クラブ～

12月15日（木）川合文化会館で、「かわいっこ低学年クラブ」の子どもたちが、出張体験教室として三重こどもの城から講師を招き、カブラの体験を行いました。

カブラとはフランスからやってきた木製の積み木のことで、非常に精工に作られていて、工夫次第で様々な遊びができます。

この日は、一人一人が自分で考えた積み方で、決められた時間内にどれだけ高く積めるかをめざす「高さチャレンジ」や、グループに分かれて八角タワーを完成させるチームプレー等に挑戦しました。

チームプレーでは、みんなで力を合わせてタワーの完成を目指しましたが、グループによって出来栄が全く違ったり、完成間近で崩れてしまい、また1からやり直すグループも見られました。

まだまだ手を加えたいところはたくさんあるようでしたが、楽しい時間はあっという間に過ぎてしまい、作品の完成間近で終わりの時間を迎えてしまったグループもあったようです。

この挑戦を通して、友達と楽しみながら連帯感を高めることができた貴重な体験となりました。



シリーズ 地域の名所旧跡 . . . その④

初瀬街道・八太宿（八太地区）



現在の八太橋



当時が偲ばれる土塀



「まるや」の看板

初瀬街道は、近世後半に参宮ブームの波にのって宿場が栄えました。町内には大仰・田尻・八太の三ヶ所の宿場がありました。なかでも、田尻から波瀬川沿いに下った八太宿には、朝日屋・三木屋・丹波屋・角屋・西川屋・小田屋・丸屋・萬屋と八軒の旅籠がありました。街道の両側には、魚屋・酒屋・荒物屋など日常生活に必要なものを売る店が軒を並べ、ほかにも金魚屋・質屋などもあり、八太宿は大変賑わったようです。現在の一志東小学校運動場の辺りには「八太の七曲り」といった角が七ヶ所あり昔の風情を偲ぶことができます。また、小田屋と丸屋は昭和の初期まで商人宿となっていました。旅籠「まるや」の看板は郷土資料館に展示されています。

1575年（天正3年）に薩摩の島津家久が上京の際に参宮したときの「中書家久公御上京日記」をはじめ、本居宣長の一行が1772年（明和9年）に八太宿を訪れた「菅笠日記」や、伊能忠敬が1808年（文化5年）から1809年（文化6年）にかけての「第6回測量調査日記」などに八太宿を利用した人々の記録を見ることができます。（引用主要文献「一志町史」）

林野火災に備える 津市消防団一志方面団 林野火災訓練実施

2月5日（日）、津市消防団一志方面団では林野火災を想定した消火訓練を行いました。

当日は、武川方面団長以下115名の団員が参加し、東山地内の山林から出火、けが人が発生したとの想定により、河川からの可搬ポンプによる送水訓練やポンプ自動車の中継し放水を行う消火訓練を行いました。

また、コスモス分団による応急手当訓練や救護者搬送訓練が行われ、参加された団員の皆さんは、降りしきる雨の中、熱心に訓練に取り組んでいました。



津市消防団一志方面団長就任

1月1日付けで一志方面団に異動があり、馬場康雄方面団長の後任として武川雪松氏が方面団長に就任されました。

あたりまえ 誰が決めたの その基準 人権標語より